

## 平成26年度事業報告

### 1. 平成26年度優秀業績の表彰

平成26年度優秀業績については慎重に検討された結果、

生方 公子 氏（慶應義塾大学医学部感染症学教室）

「Longitudinal surveillance of *Haemophilus influenzae* isolates from pediatric patients with meningitis throughout Japan, 2000–2011」

（Journal of Infection and Chemotherapy Vol.19、No.1 p34-41 Kimiko Ubukata 他4名）

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

西島 健 氏（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）

「Long-term exposure to tenofovir continuously decrease renal function in HIV-1-infected patients with low body weight: results from 10 years of follow-up」

（AIDS 2014; 28:1903–1910 Nishijima Takeshi 他14名）

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

### 2. 講演会

平成26年6月18日～20日、ヒルトン福岡シーホークにおいて第88回学術講演会を安川正貴 会長のもとに開催した。

（第62回日本化学療法学会総会：門田淳一会長と合同開催）

- |   |   |   |     |
|---|---|---|-----|
| a | 会員の業績研究発表   | 口演：426題（感染症：318題 化療：108題）<br>ポスター：441題（感染症：336題 化療：105題）                |     |
| b | 招聘講演  |   | 1題  |
|   | Contributions of Infections to Human Carcinogenesis—Mechanisms and Perspectives | 司会：帝京平成大学 川名 尚  |     |
|   |   | Deutsches Krebsforschungszentrum(DKFZ), Germany Harald zur Hausen       |     |
| c | 特別講演  |   | 1題  |
|   | グローバル化における感染症対策   | 司会：滋賀県立成人病センター 笹田 昌孝<br>独立行政法人地域医療機能推進機構 尾身 茂                           |     |
| d | 教育講演  |   | 14題 |
|   | 1 iPS細胞を用いた難治性感染症予防・治療への応用と展望   | 司会：福井大学医学部附属病院 上田 孝典<br>北海道大学大学院医学研究科社会医学系衛生学・細胞予防医学講座 若尾 宏             |     |
|   | 2 感染症と報道  | 司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態解析学講座臨床病態検査学分野 一山 智<br>株式会社ココノッツ 田辺 功                |     |
|   | 3 非結核性抗酸菌症  | 司会：島根大学医学部微生物・免疫学 富岡 治明<br>国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 鈴木 克洋                     |     |
|   | 4 <i>Clostridium difficile</i> 感染症に関して  | 司会：杏林大学医学部感染症学 神谷 茂<br>国立感染症研究所細菌第二部 加藤 はる                              |     |
|   | 5 世界から見たインフルエンザ対策の課題、H7N9感染拡大とワクチン効果低下  | 司会：博多駅前かしわぎクリニック 柏木征三郎<br>神奈川県警友会けいゆう病院小児科 菅谷 憲夫                        |     |
|   | 6 経鼻接種インフルエンザ粘膜ワクチン開発の現状  | 司会：和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科 山中 昇<br>徳島大学疾患酵素学研究所 木戸 博                          |     |
|   | 7 HTLV-1感染症の最近の知見   | 司会：宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学 岡山 昭彦<br>東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科 内丸 薫               |     |
|   | 8 非定型肺炎   | 司会：杏林大学医学部総合医療学教室 河合 伸<br>川崎医科大学総合内科学1 宮下 修行                            |     |
|   | 9 抗菌薬のPK-PDとモデル&シミュレーション  | 司会：東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫<br>東京女子医科大学病院薬剤部 木村 利美        |     |
|   | 10 呼吸器感染症治療ガイドライン   | 司会：信楽園病院呼吸器内科・感染症内科 青木 信樹<br>奈良県立医科大学感染症センター 三笠 桂一                      |     |
|   | 11 風疹：特に胎児感染予防について  | 司会：福岡市立こども病院・感染症センター 青木 知信<br>国立感染症研究所感染症疫学センター 多屋 馨子                   |     |
|   | 12 新しい時代のバイオテロ対策～生命科学技術のDual Use問題～   | 司会：岡山大学大学院大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学 公文 裕巳<br>防衛医科大学校防衛医学研究センター感染症疫学対策研究官 加来 浩器 |     |
|   | 13 性感染症の最近の話題   | 司会：産業医科大学医学部泌尿器科 松本 哲朗<br>産業医科大学医学部泌尿器科 濱砂 良一                           |     |

14 抗ウイルス剤開発の現状 抗ヘルペス薬ASP2151と抗インフルエンザ薬T-705

司会：東京大学医科学研究所先端医療研究センター・感染症分野 岩本 愛吉  
富山大学医学部 白木 公康

e シンポジウム

1 予防接種法改正後の方向性について考える

司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏

1) 予防接種法改正の背景と概要

川崎医科大学小児科学講座 尾内 一信

2) これからの日本の予防接種の進め方：基本方針部会の活動

福岡市立心身障がい福祉センター 宮崎 千明

3) 予防接種の安全性-副反応報告制度改正とHPVワクチンも含めた副反応検討部会からの報告

国立病院機構三重病院小児科 庵原 俊昭

福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野 岡田 賢司

4) 開発が望まれるワクチン

福島県立医科大学医学部小児科 細矢 光亮

5) 予防接種推進専門協議会の活動と役割

慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏

2 生物学的製剤と感染症対策-その制御に向けての現状と今後の展望-

司会：東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰

1) 肺炎・慢性下気道感染症と呼吸器領域における感染症対策

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻 田代 隆良

2) 結核

産業医科大学医学部呼吸器内科学 迎 寛

3) 非結核性抗酸菌症

大阪大学医学部感染制御部 朝野 和典

4) 生物学的製剤と深在性真菌症

東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野 菊地 利明

大阪市立大学臨床感染制御学 掛屋 弘

3 忘れてはいけない感染症：結核

司会：国立病院機構東京病院呼吸器内科 永井 英明

1) 行政の立場から

琉球大学医学部第一内科 藤田 次郎

2) 結核専門病院の立場から

大阪市西成区保健福祉センター分館、公益財団法人結核予防会結核研究所 下内 昭

3) 一般病院における結核診療の現状と治療の脱落を防ぐ努力

NHO 近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター感染症研究部 露口 一成

4) 大学病院における結核の感染制御

JR 東京総合病院呼吸器内科 山口 哲生

4 超高齢者社会における感染症対策

司会：福島県立医科大学医学部医学科感染制御学講座 金光 敬二

1) 高齢者の感染予防

新潟大学医歯学総合病院感染管理部 内山 正子

2) 病院における感染対策

国立病院機構三重病院呼吸器内科 丸山 貴也

3) 高齢化郡部における肺炎の現状と課題および予防対策

聖マリアンナ医科大学微生物学、聖マリアンナ医科大学病院感染制御部 竹村 弘

4) 介護施設の感染対策

遠賀中間医師会おんが病院救急総合診療科 末廣 剛敏

5 今後の鳥インフルエンザとパンデミックへの対応

司会：国立病院機構三重病院臨床研究部 谷口 清州

1) A/H7N9,A/H5N1 インフルエンザウイルス感染症等の現状

倉敷中央病院呼吸器内科 石田 直

2) インフルエンザへのワクチン接種戦略

国立病院機構三重病院臨床研究部 谷口 清州

3) インフルエンザ A/H7N9 ウイルスの特徴とワクチン開発の現状

国立病院機構三重病院小児科 庵原 俊昭

国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター第3室 板村 繁之

4) 今後のパンデミック対策とリスクアセスメント

東北大学大学院医学系研究科微生物学分野 押谷 仁

6 ダニ媒介性感染症の現状とその対策

司会：岡山県環境保健センター 岸本 寿男

1) ダニ媒介性感染症の基礎と疫学

愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学 長谷川 均

2) 多様化するつつが虫病の現状と課題

馬原アカリ医学研究所 藤田 博己

3) 日本で流行が確認された重症熱性血小板減少症候群:発見までの経緯と今後の対策

福井大学医学部附属病院感染制御部、福井大学医学部附属病院感染症内科 岩崎 博道

国立感染症研究所ウイルス第一部 西條 政幸

4) 日本紅斑熱の30年、そして

馬原医院 馬原 文彦

7 HIV感染症/AIDS update

司会：東京医科大学八王子医療センター感染症科 藤井 毅

1) 肝炎と HIV 感染症

愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター 高田 清式

2) ART時代における日和見疾患診療のポイント

東京大学医学部感染症内科 四柳 宏

3) HIV感染者の高齢化と長期治療の問題点

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 今村 顕史

4) Single tablet regimen (STR) 時代の抗HIV療法と薬剤耐性HIVへの対応

東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部 吉田 正樹

国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター臨床研究センター感染・免疫研究部感染症研究室 横幕 能行

8 日本におけるブレイクポイントの展望

司会：東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博

1) 基礎の立場から

大分大学医学部附属病院感染制御部 平松 和史

2) 医師の立場から

東邦大学医学部微生物・感染症学講座感染制御学分野 石井 良和

3) 検査の立場から

帝京大学医学部附属病院感染制御部、帝京大学医学部内科学講座(感染症) 松永 直久

4) 薬剤師の立場から

神戸大学医学部附属病院検査部 中村 竜也

広島大学大学院臨床薬物治療学 猪川 和朗

9 感染症専門医の将来像を考える 2014

司会：日本感染症学会理事長 岩田 敏

1) 我が国の専門医制度改革について

日本感染症学会専門医制度審議委員会委員長 安川 正貴

2) 感染症専門医制度改革について

香川大学医学部附属病院総合診療科 千田 彰一

日本感染症学会専門医制度審議委員会委員長、愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学講座 安川 正貴

3) 感染症専門医が目指すべきこと

九州大学病院グローバル感染症センター 下野 信行

4) 感染症専門医のあるべき姿を考える

愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁

5) 私が目指す感染症科医の道～全身を診ることのできる感染症科医として臨床から真実を追究する研究へ～

- 慶應義塾大学医学部内科学（腎臓・内分泌・代謝） 吉藤 歩  
 司会：神戸大学大学院医学研究科腎泌尿器科学分野 荒川 創一  
 兵庫医科大学泌尿器科 山本 新吾  
 神戸大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学分野 重村 克巳  
 はすい小児科 蓮井 正史  
 京都府立医科大学大学院女性生涯医学 岩破 一博  
 兵庫医科大学医学部感染制御部 中嶋 一彦
- 10 薬剤耐性菌を考慮した尿路感染症の抗菌薬療法とは？  
 1) 泌尿器科医の立場から  
 2) 小児科医の立場から  
 3) 産婦人科医の立場から  
 4) 耐性菌を念頭においた尿路感染への抗菌薬の使用-感染制御からの取り組み-
- 11 国内外のサーベイランスの動向と臨床への活用  
 司会：大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一  
 北里大学抗感染症薬研究センター感染防御学 花木 秀明  
 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部 三澤 成毅  
 北里大学抗感染症薬研究センター感染防御学 花木 秀明  
 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科 清田 浩  
 長崎大学医学部臨床検査医学講座/長崎大学病院検査部 柳原 克紀
- 12 輸入感染症を予防するために何をすべきか  
 司会：久留米大学医学部感染制御学講座 渡邊 浩  
 川崎医科大学小児科学 中野 貴司  
 川崎医科大学小児科学講座 尾内 一信  
 久留米大学医学部感染制御学講座 渡邊 浩  
 川崎医科大学小児科学 中野 貴司
- 1) 海外渡航者の感染症罹患状況と渡航者のリスク認知度  
 2) トラベルクリニックにおけるアドバイス  
 3) トラベラーズワクチンは何を接種すべきか  
 4) マラリアのリスクアセスメントと予防投薬  
 奈良県立医科大学病原体・感染防御医学講座,奈良県立医科大学感染症センター 中村(内山)ふくみ
- 13 感染症診療におけるバイオマーカーを考える  
 司会：東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫  
 近畿大学医学部附属病院安全管理部感染対策室 吉田耕一郎
- 1) 感染症診療における新しいバイオマーカー「プレセプシン」  
 愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学,愛知医科大学病院感染症科 三嶋 廣繁  
 2) CRP の有用性と限界 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 梅木 健二  
 3) 感染症診療における高感度プロカルシトニン測定の臨床的意義-大学病院における年間全測定結果の解析より-  
 塩慶義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一  
 4) (1→3)-β-D-グルカン 愛知医科大学病院感染症科,愛知医科大学病院感染制御部 山岸 由佳  
 5) 白血球 聖マリアンナ医科大学内科学総合診療内科 國島 広之
- 14 創薬促進のための産官学連携  
 司会：東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰  
 慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏  
 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博  
 東京医科大学微生物学講座 松本 哲哉  
 第一三共株式会社ワクチン事業部研究グループ 星野 一樹  
 経済産業省製造産業局生物化学産業課 厚生労働省医政局研究開発振興課
- 1) 今なぜ創薬促進が必要か  
 2) 新規抗菌薬の開発に向けた学会からの提言  
 3) 日本における創薬促進コンソーシアムの可能性  
 4) 経済産業省の立場から  
 5) 厚生労働省の立場から  
 特別発言 昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 二木 芳人
- 15 感染症の新しい検査法  
 司会：長崎大学病院検査部 柳原 克紀  
 東京医科大学微生物学講座 大楠 清文  
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座病態解析・診断学 森永 芳智  
 九州大学病院検査部 清祐麻紀子  
 金沢医科大学臨床感染症学 馬場 尚志  
 札幌医科大学附属病院検査部 品川 雅明  
 奈良県立医科大学微生物感染症学講座 矢野 寿一
- 16 薬剤耐性と対峙する手術部位感染対策  
 司会：名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学 中村 敦  
 東邦大学医療センター大橋病院外科 渡邊 学  
 藤田保健衛生大学医学部腎泌尿器外科学講座 石川 清仁  
 川崎市立多摩病院整形外科 松下 和彦  
 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学 竹村 茂一  
 広島大学病院感染症科 大毛 宏喜
- 1) 泌尿器科分野  
 2) 骨・関節手術における手術部位感染対策  
 3) 肝胆膵外科領域  
 4) 下部消化管外科領域
- 17 深在性真菌症の変貌～最近10年間と今後～  
 司会：東邦大学医療センター大森病院 渋谷 和俊  
 国立感染症研究所真菌部 宮崎 義継  
 国立感染症研究所真菌部 田辺 公一  
 兵庫医科大学医学部感染制御部 中嶋 一彦  
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座臨床感染症学分野 泉川 公一  
 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科 福田 隆浩  
 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 串間 尚子
- f ワークショップ  
 1 抗菌化学療法におけるPBPM (Protocol Based Pharmacotherapy Management) をどう展開するか  
 司会：東京女子医科大学病院薬剤部 木村 利美  
 長崎大学病院薬剤部 北原 隆志
- 1) 米国におけるPBPM (Protocol-Based Pharmacotherapy Management) の現状と問題点  
 聖マリアンナ医科大学病院薬剤部 前田 幹広  
 2) 抗菌化学療法におけるPBPMをどう展開するか  
 三重大学医学部附属病院薬剤部 村木 優一

3) 一般病院における抗菌化学療法のPBPM	医療法人社団健進会新津医療センター病院	継田 雅美
4) 大規模病院における病棟薬剤師が実施するTDM業務に対するマネジメント	東京女子医科大学病院薬剤部	桑名 史織
5) 当院における共同薬物治療管理 (CDTM) の取り組み		
2 感染症診療のクリニカル・パール BASICコース	鹿児島県厚生連健康管理センター、鹿児島厚生連病院ICT 司会：自治医科大学附属病院臨床感染症センター感染症科	宮原 広典 矢野 晴美
症例提示	奈良県立医科大学感染症センター	笠原 敬
症例提示 (指導医)	討論者：サクラ精機株式会社	青木 眞
症例提示	新潟大学小児科学講座	齋藤 昭彦
症例提示 (指導医)	静岡県立静岡がんセンター感染症内科	森岡慎一郎
	静岡県立静岡がんセンター感染症内科	倉井 華子
	東京都立小児総合医療センター感染症科	磯貝美穂子
	東京都立小児総合医療センター感染症科	堀越 裕歩
3 敗血症 (セプシス) 治療ガイドライン：日欧米の違い	司会：千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 兵庫医科大学救急・災害医学講座	織田 成人 小谷 穰治
1) 日本における敗血症 (セプシス) 治療の現状	兵庫医科大学救急、災害医学講座、日本救急医学会Sepsis Registry 日本集中治療医学会Sepsis Registry委員会	特別委員会 小谷 穰治
2) 敗血症の抗菌治療 (de-escalationを中心に)	京都医療センター救命救急センター救命救急科	志馬 伸朗
3) 敗血症における血糖管理	神戸大学附属病院集中治療部	江木 盛時
4) 敗血症性ショックおよび重症敗血症における初期蘇生と栄養療法		
4 MRSA治療・抗菌薬TDMガイドライン	名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野 司会：昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門	松田 直之 二木 芳人
1) MRSA感染症の治療ガイドラインの特徴	兵庫医科大学感染制御学	竹末 芳生
2) MRSA骨髓炎-ガイドラインをどう生かすか	大阪大学医学部附属病院感染制御部	朝野 和典
3) MRSAによる心内膜炎の治療	川崎市立多摩病院整形外科	松下 和彦
4) バンコマイシンのTDM：日米の相違点	埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科	光武耕太郎
5 移植医療と感染症	慶應義塾大学薬学部実務薬学講座 司会：岡山大学病院感染症内科	松元 一明 草野 展周
1) 同種造血幹細胞移植と感染症	愛媛大学医学部附属病院感染制御部	田内 久道
2) 生体肝移植術後創部感染発症のリスク因子	大分大学医学部腫瘍・血液内科	緒方 正男
3) 肺移植医療と感染症	京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部	山本 正樹
4) 腎移植と感染症～感染症も拒絶反応もないフォローアップを目指して～	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・乳腺内分泌外科	大藤 剛宏
6 感染症診療のクリニカル・パール ADVANCEDコース	長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科 司会：東京大学医学部附属病院感染症内科	望月 保志 四柳 宏
症例提示	国立国際医療研究センター病院国際感染症センター	大曲 貴夫
症例提示	討論者：自治医科大学附属さいたま医療センター血液科	神田 善伸
症例提示	国立国際医療研究センター病院国際感染症センター	加藤 康幸
	国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター	塚田 訓久
	虎の門病院臨床感染症科	荒岡 秀樹
	奈良県立医科大学病原体・感染防御医学講座/感染症センター	中村 (内山) ふくみ
	国立病院機構大阪医療センター感染症内科	上平 朝子
g 委員会報告		1 題
日本化学療法学会・日本感染症学会・日本臨床微生物学会 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業 ～10周年記念委員会報告～		
司会：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス運営委員会委員、昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門	二木 芳人	
三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員、第一三共株式会社研究開発本部開発推進部	小笠原和彦	
1) 呼吸器感染症 (RTI)	長崎大学大学院病態解析・診断学分野 (臨床検査医学)、長崎大学病院検査部、 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員	柳原 克紀
2) 尿路感染症・性感染症 (UTI)		
3) 手術部位感染 (SSI)	兵庫医科大学泌尿器科、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員	山本 新吾
4) 耳鼻咽喉科領域	東邦大学医療センター大橋病院外科、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員	草地 信也
	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科、 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員	鈴木 賢二
h 症例から学ぶ感染症セミナー		1 題
1) 症例提示 1	司会：国立国際医療研究センター	大曲 貴夫
2) 症例提示 2	東京医科大学八王子医療センター感染症科	藤井 毅
	虎の門病院臨床感染症部・臨床感染症科	荒岡 秀樹
	がん研究会有明病院感染症科	原田 壮平
i ランチョンセミナー		2 2 題
1 抗真菌薬のPK-PD	司会：千葉大学真菌医学研究センター病原真菌研究部門臨床感染症分野 愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学	亀井 克彦 三嶋 廣繁
2 インフルエンザ診療の最新知識2013-2014～鳥インフルエンザ (H7N9) を含めて～	司会：愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学講座 東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門	安川 正貴 渡辺 彰
3 結核診断とIGRA検査の有用性	司会：佐賀大学医学部国際医療学講座 国立病院機構東京病院呼吸器センター	青木 洋介 永井 英明

- 4 インフルエンザウイルスの動態を踏まえた診断・治療・感染防御対策  
司会：東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫  
日本臨床内科医会インフルエンザ研究班、廣津医院 廣津 伸夫
- 5 HIV感染症治療のターニングポイント～ドルテグラビルの臨床的位置付け～  
1) 治療ガイドライン・エビデンスに基づいたHIV感染症治療 横浜市立市民病院感染症内科 立川 夏夫  
2) HIV感染症認定医の診療の実際と今後の展望  
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター 横幕 能行
- 6 今、望まれるケチらない感染症管理・治療-日本のDPCは患者の味方。では米国は？-  
司会：医療法人社団大坪会北多摩病院 戸塚 恭一  
東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也  
司会：東京大学医学部附属病院感染症内科 四柳 宏  
東京医科大学八王子医療センター感染症科 藤井 毅  
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科 鯉淵 智彦
- 7 HIV感染症における最新の治療戦略  
1) 早期治療による二次感染抑制とSTRの役割 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 湯永 博之  
2) HIV/HBV共感染におけるTDFを含むARTの意義
- 8 呼吸器感染症の今～肺非結核性抗酸菌症と慢性肺アスペルギルス症の診断と治療～  
司会：京都大学医学部附属病院感染制御部 一山 智  
埼玉医科大学病院呼吸器内科 金澤 實
- 9 MRSA感染症の診断・治療・予防-最新データとガイドラインを踏まえて-  
司会：神戸大学医学部附属病院感染制御部 荒川 創一  
長崎大学大学院病態解析・診断学（臨床検査医学）／長崎大学病院検査部 柳原 克紀
- 10 抗インフルエンザ薬とインフルエンザワクチンの課題 H7N9に備えて 司会：国立病院機構三重病院臨床研究部 谷口 清州  
神奈川県警友会けいゆう病院小児科 菅谷 憲夫
- 11 呼吸器感染症の起炎菌の変貌とレスピラトリーキノロンの役割  
司会：信楽園病院 青木 信樹  
琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学（第一内科） 藤田 次郎
- 12 呼吸器感染症（高齢者・小児）  
司会：川崎医科大学小児科学 尾内 一信  
1) 高齢者肺炎の現状と課題～HCAP/NHCAPを中心に～ 京都大学医学部附属病院呼吸器内科 伊藤 功朗  
2) 小児呼吸器感染症の新たな治療戦略～年齢と耐性菌の現状を考慮した抗菌薬の選択～  
久留米大学医学部小児科学講座 津村 直幹
- 13 キノロン系薬のブレイクポイントを考える～ガレノキサシンを中心に～  
司会：東京医科大学微生物学講座 松本 哲哉  
愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
- 14 敗血症性ショックの抗菌療法+ $\alpha$   
司会：広島大学病院感染症科 大毛 宏喜  
京都医療センター救命救急科 志馬 伸朗
- 15 インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの現状と結合型ワクチンへの期待  
司会：大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一  
国立病院機構三重病院呼吸器内科 丸山 貴也
- 16 敗血症性DICの病態、診断、治療-ImmunothrombosisからDICへ-  
司会：兵庫医科大学感染制御学 竹末 芳生  
北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野 丸藤 哲
- 17 臨床医が知っておきたいHIV感染症の治療  
司会：独立行政法人国立病院機構九州医療センター病院AIDS/HIV総合治療センター 山本 政弘  
1) 最新の抗HIV治療ガイドラインの解説 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 湯永 博之  
2) ガイドラインに基づいた治療の実際 がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 今村 顕史
- 18 医療関連感染対策において今後開発が期待されるワクチン～インフルエンザウイルスなど～  
司会：川崎医科大学小児科学講座 中野 貴司  
愛知医科大学病院感染症科、愛知医科大学病院感染制御部 山岸 由佳
- 19 HIV感染症と結核  
司会：昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 二木 芳人  
国立病院機構東京病院呼吸器センター 永井 英明
- 20 肺非結核性抗酸菌症治療における今日の問題点  
司会：公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科 石田 直  
公益財団法人結核予防会複十字病院 倉島 篤行
- 21 最新のHIV感染症治療～慢性疾患としての長期治療戦略から感染予防まで～  
司会：公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院 味澤 篤  
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 岡 慎一
- 22 深在性真菌症の診断と治療-2014年版ガイドラインのエッセンス- 司会：埼玉医科大学感染症科・感染制御科 前崎 繁文  
長崎大学医歯薬学総合研究科感染免疫学講座 泉川 公一
- j イブニングセミナー  
1 細菌性髄膜炎における治療動向-成人例を中心に- 司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏  
日本大学医学部内科学系神経内科学分野 亀井 聡  
2 皮膚科医が語る帯状疱疹の診察・治療のポイント 司会：帝京大学医学部皮膚科学教室 渡辺 晋一  
愛知医科大学皮膚科学教室 渡辺 大輔  
3 現在の肺炎診療ガイドラインを考える 司会：長崎大学病院 河野 茂  
1) 医療・介護関連肺炎（NHCAP）のPros&Cons そしてこれからの高齢者医療に求められるもの 筑波大学附属病院呼吸器内科 寺本 信嗣  
2) 市中肺炎診療（CAP）のPros&Cons そしてこれからの実地医療に求められるもの 川崎医科大学総合内科学1 宮下 修行  
3) 院内肺炎診療（HAP）のPros&Cons そしてこれからの病院診療に求めるもの 大阪大学医学部附属病院感染制御部 朝野 和典

4 質量分析装置の導入により感染症診療がどのように変わるか～使用して感じたメリットとピットフォール～

司会：千葉大学医学部附属病院検査部／遺伝子診療部 野村 文夫  
佐賀大学医学部附属病院感染制御部 曲淵 裕樹

5 目で見る感染症

司会：和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山中 昇

－したたかな菌の戦略－

1) 肺炎球菌およびインフルエンザ菌の巧妙さ～上気道感染症の難治化への要因

和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 保富 宗城

2) 肺炎マイコプラズマの実像に迫る－ミクロの世界を覗き見る－

札幌徳洲会病院小児科 成田 光生

－迎え撃つ宿主の戦略－

3) 呼吸器感染症における肺胞マクロファージの役割とその制御

琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学（第一内科） 藤田 次郎

4) 粘液線毛輸送系による気道クリーニング

東京女子医科大学内科学第一講座 玉置 淳

k ICD講習会

MRSA感染症とその対策

司会：聖マリアンナ医科大学病院総合診療内科 國島 広之

1) MRSAのき基礎

北里大学生命科学研究科抗感染薬研究センター感染防御学講座 花木 秀明

2) MRSA感染症の診断と治療

大阪大学医学部附属病院感染制御部 関 雅文

3) MRSA感染対策

鹿児島大学病院医療環境安全部感染制御部門 徳田 浩一

4) 外科系MRSA感染症とその対策

山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部 森兼 啓太

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

88巻1号より逐次刊行した。

地方会学術集会プログラムを掲載した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.20, No.1より逐次刊行した。

インパクトファクター：1.384

4. 地方会

・第63回東日本地方会学術集会は、平成26年10月29日～31日の3日間、亀井克彦会長のもとで第61回日本化学療法学会東日本支部総会（清田 浩会長）と合同で東京都・東京ドームホテルで行われた。

緊急セミナー 1題、特別講演 2題、教育講演 4題、シンポジウム 12題、細菌学会との合同シンポジウム 1題、新薬シンポジウム 1題、Meet the Expert 17題、感染症セミナー 1題、教育セミナー 16題、イブニングセミナー 3題、ICD講習会 1題

一般演題 199題（感染症：143題、化療：56題）

参加人数 1471名

・第57回中日本地方会学術集会は、三鴨廣繁会長のもとで、第84回西日本地方会学術集会は、尾内一信会長のもとで平成26年10月23日～25日の3日間、第62回日本化学療法学会西日本支部総会（尾内一信会長）と合同開催で岡山市・岡山コンベンションセンターで行われた。

会長講演 2題、特別講演 3題、教育講演 17題、Meet the Expert 7題、シンポジウム 21題、新薬シンポジウム 1題、特別企画 1題、Up-To-Dateセミナー 1題、緊急企画 2題、教育セミナー 25題、感染症セミナー 1題、ICD講習会 1題

一般演題 233題（中日本：59題、西日本：114題、西日本化療：70題）

参加人数 1184名

5. 院内感染対策講習会

1) 講習場所、期間及び人員

2) 講習内容

1. ①院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）と微生物検査	45分
医療機関における感染制御の基本	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
周術期感染対策	45分
血液媒介感染対策および職業感染対策等	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際	45分

地域における感染対策のネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分
2. ②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会	
院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物(新しい話題の感染症の種類と特徴を含む)と微生物検査	45分
医療機関における感染制御	45分
高齢者介護施設における感染制御	45分
洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	45分
抗菌薬の適正使用(薬剤の選択と投与計画)	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
血液媒介感染対策および職業感染対策	45分
周術期感染対策	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際と地域ネットワーク・地域連携	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分
3. ③高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会	
大規模施設における感染対策システムの構築	45分
感染症サーベイランス・微生物モニタリングの実際	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
新興感染症への対応(インフルエンザ、MERS-コロナウイルス感染症対策を含め)	45分
大規模流行を起こす感染症への対応(アウトブレイク対応)	45分
感染対策に関連する環境整備	45分
感染対策教育・研修システムの構築と人材育成	45分
リスクコミュニケーション・メディア対応	45分
感染対策における情報入手と活用法	45分
地域における感染対策ネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
感染対策活動事例の紹介	45分
パネルディスカッション	80分

①. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

有楽町朝日ホール	(医師)	平成27年 2月26日、27日	84名
	(看護師)	平成27年 2月26日、27日	189名
	(薬剤師)	平成27年 2月26日、27日	106名
	(臨床検査技師)	平成27年 2月26日、27日	97名
神戸国際会議場メインホール	(医師)	平成26年12月15日、16日	86名
	(看護師)	平成26年12月15日、16日	191名
	(薬剤師)	平成26年12月15日、16日	91名
	(臨床検査技師)	平成26年12月15日、16日	90名

②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

フォレスト仙台	(医師)	平成26年12月 1日、2日	21名
	(看護師)	平成26年12月 1日、2日	98名
	(薬剤師)	平成26年12月 1日、2日	35名
	(臨床検査技師)	平成26年12月 1日、2日	34名
有楽町朝日ホール	(医師)	平成27年 2月 3日、4日	69名
	(看護師)	平成27年 2月 3日、4日	196名
	(薬剤師)	平成27年 2月 3日、4日	82名
	(臨床検査技師)	平成27年 2月 3日、4日	79名
奈良県文化会館国際ホール	(医師)	平成26年12月18日、19日	50名
	(看護師)	平成26年12月18日、19日	174名
	(薬剤師)	平成26年12月18日、19日	71名
	(臨床検査技師)	平成26年12月18日、19日	66名

ホルトホール大分	(医 師)	平成27年 1月29日、30日	4 6 名
	(看護師)	平成27年 1月29日、30日	1 2 2 名
	(薬剤師)	平成27年 1月29日、30日	4 8 名
	(臨床検査技師)	平成27年 1月29日、30日	4 9 名

③. 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

メルパルク京都		平成27年 1月 8日、9日	1 2 9 名
		合 計	2 3 0 0 名

## 6. 施設内感染対策相談窓口事業

平成26年 4月1日～平成27年 2月28日 質問件数 29件

## 7. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 70名 (敬称略)

青木 信将	阿部 克昭	井口 光孝	石井 誠	石金 正裕	宇佐美 修	生方 智
大井 幸昌	小川 吉彦	渡橋 剛	賀来 敬仁	河邊 慎司	河村 一郎	岸本 健治
北浦 剛	栗原 陽子	河野 仁寿	小佐井康介	後藤 憲志	小林謙一郎	齋藤 紀先
嵯峨 知生	酒井 俊彦	阪本 直也	佐藤 寛丈	澤井 豊光	島崎 貴治	荘司 貴代
白濱 知広	鈴木 純	鈴木 広道	隅田 幸佑	曾木 美佐	谷口 俊文	朽谷健太郎
長岡健太郎	中田 浩智	南宮 湖	二階堂雄文	野口 靖之	濱口 重人	林 俊誠
原田 敏之	原田由紀子	東川 正宗	藤谷 好弘	堀田 剛	本郷 偉元	本田 仁
曲淵 裕樹	松井 佑亮	松田 直人	松原 康策	馬渡 桃子	三木田 馨	水橋 啓一
光本富士子	南 留美	森本浩之輔	八坂謙一郎	矢崎 博久	矢嶋敬史郎	矢寺 和博
山口 征啓	山口 航	山元 佳	山本 正樹	影向 晃	米川 真輔	若林 義賢

2) 更新者 215名

3) 指導医 81名

4) 感染症専門医認定研修施設 266施設 (ホームページ参照)

5) 専門医育成経過措置としての連携研修施設 研修に3年を要する施設 23施設 (ホームページ参照)  
研修に4年を要する施設 37施設 (ホームページ参照)

6) 感染症サマースクール2014

平成26年8月8日(金)～9日(土) 品川プリンスホテル

参加者: 72名

## 8. ワクチン委員会

1) 平成26年11月24日(月・祝)に東京国際フォーラムにおいて市民公開講座「ワクチンで変わる、感染症とのたたかい」を開催した(参加者: 370名)。HPで動画を配信している。

2) 日本呼吸器学会と合同で「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方」を作成し、HPに掲載した。

## 9. ガイド・ガイドライン作成委員会(日本化学療法学会と合同)

1) 「呼吸器感染症治療ガイドライン」を発刊した。

2) 「MRSA感染症の治療ガイドライン2014年改訂版」を発刊し、HPに掲載した。

3) 「MRSA感染症の治療ガイドライン2014年改訂版 ポケット版」を発刊した。

4) 「JAID/JSC感染症治療ガイド2014」を刊行した。

10. 9月12日(金)に日本記者クラブにおいて「デング熱の国内感染とその対応」を行った。

11. 10月13日(月・祝)にベルサール汐留において四学会緊急セミナー「エボラ出血熱・デング熱への対応」を開催した。(参加人数: 473名)

12. 4月2日(水)～5日(土)に南アフリカ・ケープタウンで開催された16th International Congress on Infectious Diseasesにおいてシンポジウム「Antibiotic Resistance - State of the Art」を共催した。

13. 11月2日(日)イイノホール&カンファレンスセンターにおいて新型インフルエンザの診療に関する研修を日本呼吸器学会と共催して行った(主催: 厚生労働省)。プログラムについては厚生労働省HP参照。

14. 4月26日(土)に開催された第3回日本微生物学連盟主催市民フォーラム「薬が効かない感染症の話-薬剤耐性感染症の現状とその対策」に共催した。



15. 日本呼吸器学会編集の「生物学的製剤と呼吸器疾患・診療の手引き」作成に協力し、会員に配布した。
16. 新規抗菌薬の開発に向けた学会提言「耐性菌の現状と抗菌薬開発の必要性を知っていただくために—提言発表の背景と目的」を6学会共同で発表した。
17. 感染症関連制度検討委員会と感染症危機管理委員会を設置した。
18. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会  
委員会発足10周年の報告を第88回日本感染症学会・第62回日本化学療法学会時および第26回日本臨床微生物学会時に行った（当学会参加は2009年から）  
第1回（2009年）呼吸器感染症（JIC掲載済）、急性単純性膀胱炎（JIC掲載済）、尿道炎（JIC掲載済）  
第2回（2010年）呼吸器感染症（JIC投稿中）、手術部位感染（JIC掲載済）  
第3回（2011年）耳鼻咽喉科領域（JIC投稿中）、複雑性尿路感染症（JIC投稿済）  
第4回（2012年）呼吸器感染症（JIC投稿中）、尿道炎（淋菌）（JIC投稿済）、尿道炎（クラミジア）  
第5回（2013年）皮膚科領域、歯科・口腔外科領域  
第6回（2014年）手術部位感染、呼吸器感染症  
第7回（2015年）耳鼻咽喉科領域、急性膀胱炎、複雑性尿路感染症
19. ICD制度協議会 新規認定者 178名 更新者 725名

## 庶務報告

1. 会員数 正会員：11,067名 賛助会員：17件 平成27年2月28日現在  
除名については該当者無し
2. 第88回日本感染症学会総会は平成26年4月20日、イイノホールにおいて行った。
3. 平成26年度評議員会は平成26年4月20日、イイノホールにおいて行った。
4. 理事会は4回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は6回行った。  
Journal of Infection and Chemotherapy編集委員会は6回行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会は2回行った。専門医試験委員会は10回行った。
8. 感染症セミナー会議は6回行った。
9. JAID/JSC感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会は2回行った。
10. MRSA感染症の治療ガイドライン作成委員会は1回行った。
11. 四学会理事長懇談会は1回行った。
12. 経理事務打合会は1回行った。